



スタジアムから出るごみを減らすには ～リユースカップ編～

持続可能なスポーツイベントを実現する
NGO/NPOネットワーク (SUSPON)
ごみゼロ部会

スタジアムから出るごみの量をはかってみましょう

ごみ箱の分別区分の例		含まれるごみの例	
資源	飲料容器等	「ペットボトル」	ペットボトル
		「かん」	スチール缶、アルミ缶
		「びん」	透明瓶、茶色瓶、色つき瓶
		「プラ容器等」	プラスチック製カップ、カトラリー類等
		「紙コップ」	紙コップ、紙パック
	「紙類」	新聞・雑誌、カタログ、パンフレット類、段ボール、雑がみ等	
「燃えないごみ」		金属、ガラス等	
「燃やすごみ」		汚れた廃プラスチック、汚れた紙	
		割り箸、串	
		食べ残し、飲み残し(食品廃棄物)	
		弁当がらなど(複合素材)	

飲食容器が
大半ではない
でしょうか？

※本来プラスチックは再生利用、食品廃棄物は堆肥化等されることが望ましいが、環境省の調査結果では大半が燃やすごみに含まれていた。

<https://www.env.go.jp/recycle/waste/event/gomibunbetsuguidance.pdf>

ごみゼロのスポーツイベントを実現する手順

- ごみの大半を占める飲食容器について、リデュース・リユース・リサイクルの優先順位で対策することで大幅なごみ削減につながります。
- ごみを削減することは資源の節約、資源の循環に役立ち、CO2も削減できます。さらに、コスト削減にもつながる例もあります。

ステップ	考え方	具体的な取り組み事例
ステップ1 【まず減らす】 リデュース／発生抑制	使う資源やごみになるもの自体を減らします。	<ul style="list-style-type: none">・梱包材・包装材、使い捨て容器、レジ袋などの使用を減らす。・詰め替え販売を行う。・ICT 技術等も活用し、飲食提供数を予測する。・チケットレス等によるペーパーレス化
ステップ2 【繰り返し使う】 リユース／再使用	同じものを繰り返し使用します。	<ul style="list-style-type: none">・使い捨て容器に替えて、リユースカップ・リユース食器を導入。・マイボトル・マイカップ、マイ食器持参を推奨。・物品調達時にレンタルを活用。
ステップ3 【最後にリサイクル】 リサイクル／再生利用	資源として利用します。	<ul style="list-style-type: none">・分別回収を行い、資源となるものはリサイクル。 (プラスチック、紙、びん、缶など)・食品残渣を堆肥などに資源化。

ファン参加型の環境対策「リユースカップ・食器」

スタジアムに来場したファン全てに、使い捨てではないリユース容器を体験してもらい、ごみの削減に協力してもらうファン参加型のアクションです。スタジアムでの体験を通じて、社会への波及をもたらします。

リユースカップ・食器を導入すると…

- スタジアムに来場したファンを巻き込み、スタジアム全体で協力して行う**ファン参加型**の環境対策です。
- 飲食容器のごみをなくし、**温室効果ガス削減に！**
- 社会福祉施設が洗浄・保管を担う例もあり、**福祉にも貢献**する取り組み
- 環境取り組みに対する広告宣伝媒体として活用
- チームのブランディングが高まり、**ファンとの強固な絆**が生まれます。
- **SDGsのさまざまなゴールに寄与**する取り組みです。



導入事例

<J2ヴァンフォーレ甲府>

- 2004年～リユースカップ・リユース食器を導入。
- 2020年シーズンまでに累計992,000個を使用約76.4tのCO₂排出量削減に。



● ドイツ、英国、フランス、オーストラリア、ニュージーランド等で利用



英国トウィッケナム
スタジアム
<http://green-goblet.com/sustainability/green-goblet-in-the-news>



スタッドフランス
<https://www.stadefrance.com/en/stadium/sustainable-development-approach-stade-de-france>



ドイツ・アリアンツアレナ
<https://www.bavarianfootballworks.com/2018/8/28/17789334/bayern-munich-received-environmental-award-plastic-waste-reusable-cups-allianz-arena-hoffenheim>